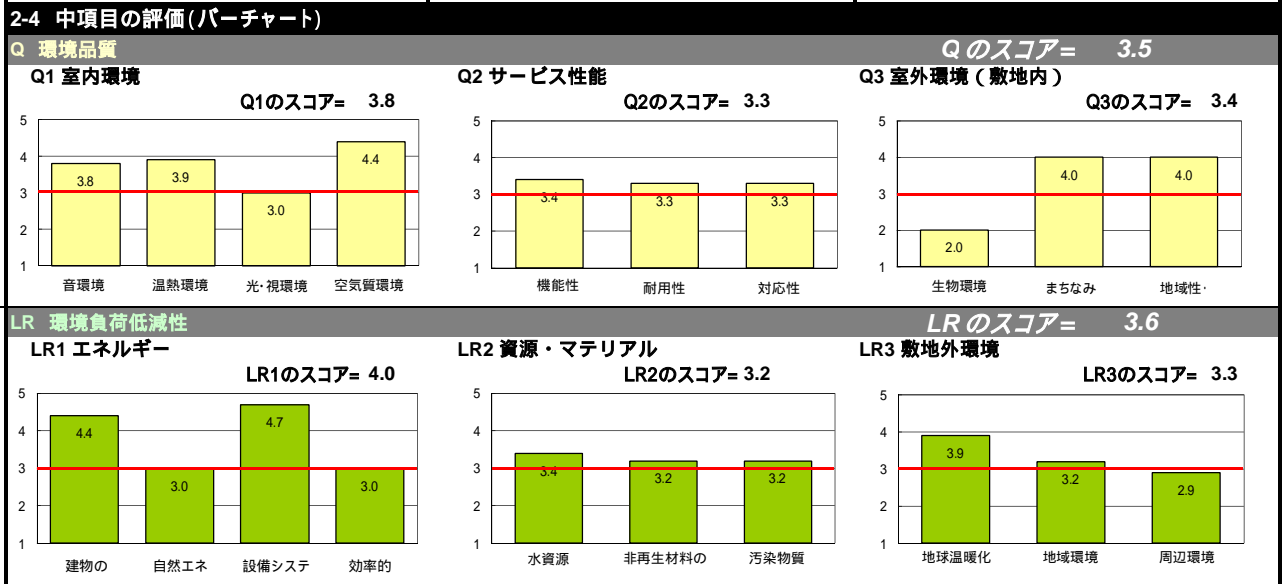
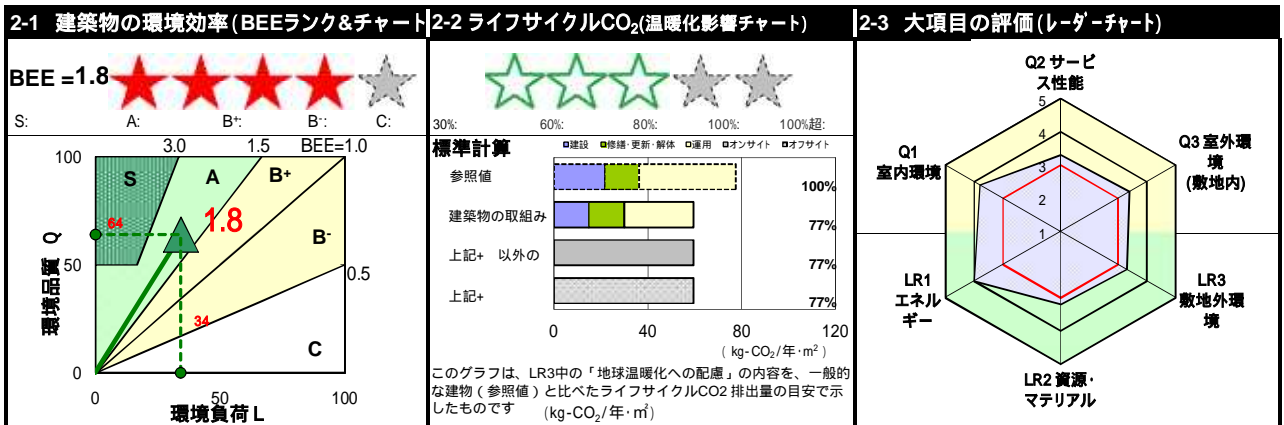


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小田急相模原駅北口B地区	階数	地上29階地下1階
建設地	神奈川県相模原市南区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	550 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店、工場、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2011年6月1日
敷地面積	4,747 m <sup>2</sup>	作成者	久米・アイック設計共同企業体
建築面積	3,598 m <sup>2</sup>	確認日	2011年6月8日
延床面積	33,201 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社久米設計



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・安心安全でコストパフォーマンスに優れた建物の実現。 ・設備の増設対応や配管等の更新性に十分に配慮。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> ・駅や広幅員道路に近い為、十分な遮音性能を確保。 ・住宅は省エネ等級4を確保。 ・シックハウス対策として の建材を全面的に使用。	<b>Q2 サービス性能</b> ・清掃やメンテナンスに配慮。 ・制震ダンパーを採用。 ・省エネルギーや災害時の対応に配慮。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・景観条例を遵守した外装計画。 ・再開発組合との協議を定期的開催し、要望を反映。(広場・屋外通路等の共用部)
<b>LR1 エネルギー</b> ・PAL値、ERR値の低減。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・住宅はスケルトン・インフィルとして計画。 ・その他の部分も設備更新が容易なよう計画。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ゲリラ豪雨対策として、十分な雨水貯留槽を確保。 ・十分は駐車駐輪台数の確保。 ・住宅と商業業務それぞれに十分な面積のごみ置場を設置。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される